

応募者名	公益財団法人 ハイパーネットワーク社会研究所	分野	教育、子育て
取組名称	保育とAI ～生成AIによる保育業務の効率化～	取組地域	大分県大分市

概要	
取組内容	生成AIを活用し、月間指導計画作成の効率化を図った。具体的には、生成AIに保育所保育指針や園のデータ、月間指導計画のサンプル等を学習させる。そこに、プロンプトとして、保育士が記載した前月の反省点を入力し、月間指導計画の作成を指示する。すると、1週間近くかかる月間指導計画の原案が一瞬でできあがる。全国的な保育人材不足は大分県においても同様である。県の調査によれば、希望どおりの保育士数を雇用できなかった施設の割合は36%に及ぶ（令和6年4月時点）。保育人材確保・継続雇用には、保育士がやりがいをもって働ける環境づくりが極めて重要であり、今回の取り組みは、保育士の離職防止に効果的だと考えている。
実績や効果	月間指導計画の作成時間 【取り組み前】1週間程度 【取り組み後】30分～40分程度 具体的な取り組み方法としては、主幹保育教諭と担当保育士で大まかな計画内容について話し合いを行い、同時並行で生成AIを活用し、指導計画案を作成していく 【効果】生産性向上により保育士のこどもと接する時間が増えるとともに、新任保育士でも生成AIで原案作成が可能となり、過度な負担になりにくい
取組全体を通じて訴えたいポイント	保育士にヒアリングする中で、「こどもが好きで選んだ職業だから、こどもと接する時間は多いほうがいい」という声をよく聞いた。それは全ての保育士の声だと思われる。今回の取り組みを通じて、全国の働いている保育士約60万人がこどもと接する時間が増えるよう横展開していく。

詳細	
地域の課題解決・魅力向上	今回の取り組みは、保育士がこどもと接する時間が増えることで、やりがいを感じ、離職防止につながる取り組みである。このことは、保育人材不足の課題解決に資するものである。また、保育士に余裕ができることで保育の質も向上し、保護者が安心して預けられる保育所となり、人口増や流出抑制の効果も期待できる。
独自性・先進性	生成AIは様々な分野で活用されているが、保育分野での活用事例は多くない。これまで、保育所におけるデジタル活用は、保護者との連絡ツールや登降園システムといったコミュニケーションツールが一般的であった。今回のように、月間指導計画という保育の内容にまで踏み込み、デジタルを活用したのは画期的である。
持続性・発展性	今回の取り組みにおいて、生成AIに読み込ませている保育所保育指針やサンプルデータ等は、一般的に流布しており、導入時のコストはさほどかかっていない。導入後のランニングコストも安く、保育所が継続して利用しやすいことから、費用対効果が高く持続的な活用が見込まれる。
他地域への横展開	今回の取り組みはまだ日が浅く、他地域からの問い合わせはないが、コストがさほどかからないことや、各保育所の特色ある計画が作成できること、また、生成AIが普及しはじめている現状に鑑み、今後、他地域への横展開は十分に期待できる。まずは大分県内での横展開に向け、協力いただいた保育所と今後の進め方について協議中である。
取組を進めるうえで苦労した点	今回の取り組みで重要な点は、生成AIが作成した計画が現場に即しているものなのかどうかを検証する点である。検証段階では、妥当な内容もあったが、部分的に現場と乖離した内容もあった。当研究所のビジネスプロデューサーが現場からの声を基に、丁寧にチューニングを行った点に苦労した。
取組の成果を上げることが出来た秘訣・工夫	現場の声を聞きながら行ったチューニングが秘訣である。生成AIに保育所保育指針などを読み込ませれば、ある程度の計画作成は可能だが、その精度は必ずしも高くはない。現場に即した計画にするためには、保育所の協力を得ながらチューニングする必要がある。
今後の展望	現在、生成AIから出された計画の内容は、ベタ打ちで出力されるため、フォーマットに落とし込むシステムにしたいと考えている。また、こどもの発達記録を行うシステムとの連動も検討している。ランニングコストもさほどかからないので、まずは大分県内での横展開を図り、全国に広げていく。